

第3学年 道徳学習指導案

1 日時 平成26年10月22日(水) 第5校時

2 主題 思慮深い判断、責任 1-(3)

自律の精神を重んじて、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。

3 資料名

(1) 副読本 「自分をのばす」あかつき 20 ウサギ

(2)「私たちの道徳 中学校」文部科学省 (3) 自分で考え実行し責任をもつ

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

自分の行動が及ぼす結果について、熟慮して行動する判断力と責任感を育てることで、自律的な生き方や生きる自信をもたせたい。

(2) 生徒について

中学生の時期は自我の確立期であり、自ら考え、判断し、実行し、自己の行動に責任をもつという道徳の基本を身に付ける必要がある。しかし、深く考えずに付和雷同したり、責任を他人に転嫁したりする場面も見受けられる。

卒業まであと半年となった3年生にとって、よい行為とは他人にとってもよい行為だということのをあらためて考えさせるとともに、人間としての誇りをもった責任ある行動がとれるように指導していく。

(3) 資料について

主人公の小学校に、転校生の中川清子がやってきた。彼女は学力も運動神経もよく、これまで学校の中心でやりたいことをやってきた主人公の立場がゆらいだ。

主人公は転校生の清子に対して、彼女のランドセルにウサギを入れるいたずらを思いつき、実行してしまった。

しかし、その直後から、主人公はさまざまなことを考え、後悔の念にかられてしまう。主人公の判断と行為、結果について話し合い、正しい判断とその責任について自分とのかかわりでもとらえさせ、さらに自分の将来の生き方や課題についても考えさせたい。

(4) 道徳教育の取り組みとの関係について

生徒会活動において、「生徒会八か条」(学校生活での心得)をつくり、「第2条、授業」「第3条、休み時間」「第6条、清掃」などの毎日の学校生活で、正しく判断する力や行為に責任をもたせる指導を行っている。

また、学校行事においても、自分だけの判断ではなく、それぞれが役割を果たす責任があることや、自分の取り組みが他者の手助けになるように判断する力を身に付けさせている。

5 本時の指導の流れ

【ねらい】 自分の行動が及ぼす結果について、熟慮して行動する判断力と責任感を育てる。			
	学習活動	発問と予想される生徒の反応 など	留意点
導 入	1 「私たちの道徳」の p24 を記入する。	○自律するとはどういうことか考えてみよう。 ・自分で判断することかな。 ・善悪を自分で決められること。	1 学校生活や合唱コンクールでの取り組みなど振り返らせる。
展 開	2 資料を読む。		2 教員が範読する。
	3 主人公の思慮の浅い行動について考える。	○ウサギの件が公にならなかったことで、主人公は自分がとった行動についてどのようなことを思ったのだろうか。 ・自分の感情を満たすためだけに行動してしまった。 ・自分だけではなく、相手の家族にも被害が及んでしまったかもしれない。 ・浅はかだった。	3 転校生に対する主人公の気持ちを追いながら、後悔の心情にせまる。 ワークシートに記入し、発表と話し合いを進める。
終 末	4 私たちの道徳の p 2 5 を記入する。	◎自分の学校生活を振り返って、自分の判断や行動は相手にとって、どのような感情を与えたと思うか考えてみよう。 ・自分の発言は自分勝手な発言だったかもしれない。	4 自分の判断や行動がおよぼす結果について考えさせ、発表させる。
	5 みんなの意見から判断する基準や行動の意図について考える。	○さまざまな判断する基準や行動の目的を考え、自分はどのような判断や行動をしていくことが大切だと感じたか。 ・みんなで行動していると安心して深く考えないけど、自分の考えをしっかりとって行動した方がいいな。 ・自分の意見を貫きどうしたほうがよいか、相手の気持ちを考えながら決めることが大切だな。	5 自分で判断して行動する際に大切にしなければいけないことは何か考え、自分の課題やこれからの生活につなげさせる。

6 評価：行為の結果についてまで深く考えることの大切さを実感することができたか。

交流の中で、行動するときの判断の大切さについて考えを深めることができたか。